

PRESS RELEASE

文部科学記者会、科学記者会、岡山大学記者クラブ加盟各社、
島根大学関係報道機関各位、香川県教育記者クラブ加盟各社、米子市政記者クラブ 御中

令和 6 年 9 月 19 日
岡 山 大 学
島 根 大 学
香 川 大 学
鳥 取 大 学

岡山大学、島根大学、香川大学、鳥取大学の 4 大学医学部が 臨床実習教育の協力に関する協定を締結 ～多様な地域医療ニーズに対応できる医師育成を目指して～

◆発表のポイント

- ・中国・四国地方の 4 大学医学部（岡山大学、島根大学、香川大学、鳥取大学）が連携し、地域医療ニーズに対応できる医師育成のための協定を締結しました。
- ・学生は、都市部の病院から離島医療まで、多様な医療現場を経験し、各大学が得意とする分野の専門的な知識やスキルを、実践を通して深く学ぶことができます。
- ・「山・里・海を個別最適に学ぶ」ことで、地域医療の現状と課題を深く理解し、地域医療格差の解消に貢献することが期待されます。

岡山大学、島根大学、香川大学、鳥取大学の 4 大学は、2024 年 9 月 4 日、地域医療の課題解決に貢献できる医師を育成するため、臨床実習教育の協力に関する協定を締結しました。本協定は、文部科学省のポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業「多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ『多地域共創型』医学教育拠点の構築」に基づき締結されました。4 大学がそれぞれの強みを活かし連携することで、多様な地域医療ニーズに対応できる医師の育成を目指します。

近年、医師不足は深刻化の一途を辿っており、特に地域医療においてはその影響が顕著に現れています。また、コロナ禍は医療現場に大きな負担をかけ、新たな課題を突きつけました。このような状況下、地域医療を支える医師の育成は、これまで以上に重要な課題となっています。

本協定により、学生は自身の在籍大学以外の大学とその関連病院で実習を行う機会を得ることができます。実習を通して、都市部の病院から離島医療まで、多様な医療現場を経験することで、それぞれの地域特性に応じた医療を学ぶことができます。これは、学生一人ひとりのニーズに合わせて、山間部、里山、そして海辺の離島といった多様な地域での医療を経験し、地域医療の現状と課題を深く理解することにつながります。ひいては、地域ごとの医師不足や医療格差の解消にも貢献することが期待されます。

4 大学は、この協定を通して、地域医療の未来を担う優秀な医師を育成し、地域社会への貢献を目指します。

PRESS RELEASE

お問い合わせ

<プレスリリースに関すること>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域（医）ポストコロナ医療人材養成事業
准教授 香田将英

（電話番号）086-235-6986 （メール）koda.masahide@okayama-u.ac.jp

<広報に関すること>

岡山大学 総務・企画部広報課

（電話番号）086-251-7292 （メール）www-adm@adm.okayama-u.ac.jp

島根大学 医学部総務課企画調査係

（電話番号）0853-20-2019 （メール）mga-koho@office.shimane-u.ac.jp

香川大学 医学部総務課広報法規・国際係

（電話番号）087-891-2008 （メール）kouhou-m@kagawa-u.ac.jp

鳥取大学 米子地区事務部総務課広報係

（電話番号）0859-38-7037 （メール）me-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp